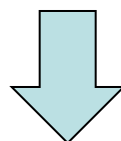
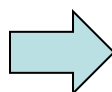


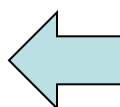
目的と特徴

- 飼料自給率の向上を目的として、飼料用米で55%又は75%代替した飼料をパークシャー種肥育後期豚（体重70kgから110kgまで）に給与し、発育と肉質を調査しました。
 - その結果、発育成績と肉質成績がともに向上しました。
- ※飼料用米は直径2mm以下に破砕したものを用いました。

玄米を破砕



飼料用米配合割合
55%、75%で豚に給餌

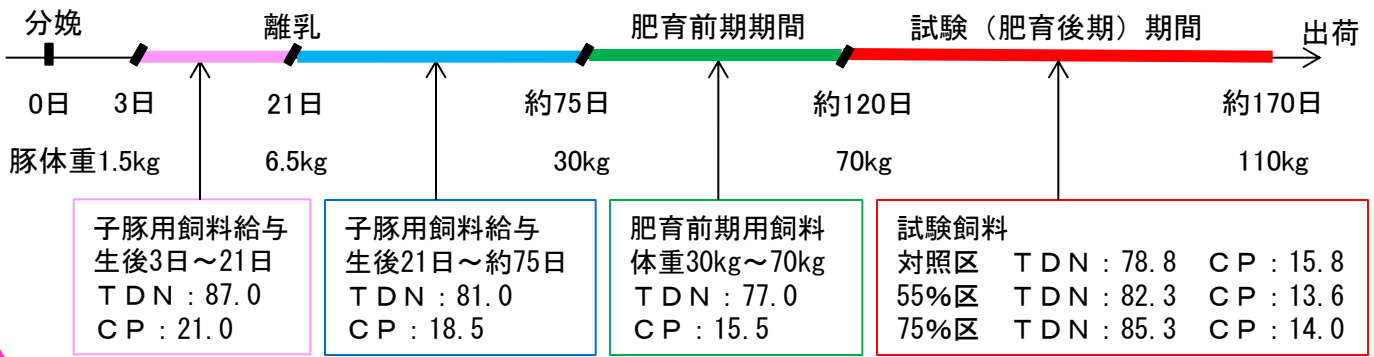


発育、肉質の向上

成果

- 飼料用米の多給で、発育が良くなって肥育日数が短くなる傾向が見られました。
- 肉色、脂肪色、肉の硬さ、ロース肉の脂肪含量とグルタミン酸等アミノ酸含量は、飼料用米給与の有無で差がありませんでした。
- 皮下脂肪では、オレイン酸割合が増え、リノール酸割合が減少しました。
- 飼料用米を給与した豚肉と給与しない豚肉を食べ比べたところ、圧倒的に飼料用米給与の方が美味しいという結果になりました。

試験豚の飼料給与体系



飼料の配合設計

原料	対照区	米55%区	米75%区
トウモロコシ	30	—	—
飼料用米	—	55	75
マイロ	25	—	—
大麦	10	10	—
キャッサバミール	10	10	—
大豆粕	9.8	9.8	9.8
菜種粕	6.6	6.6	6.6
フスマ	2.9	2.9	2.9
脱脂米ぬか	3.0	3.0	3.0
ビタミンミネラル	2.7	2.7	2.7
TDN	78.8	82.3	85.3
CP	15.8	13.6	14.0

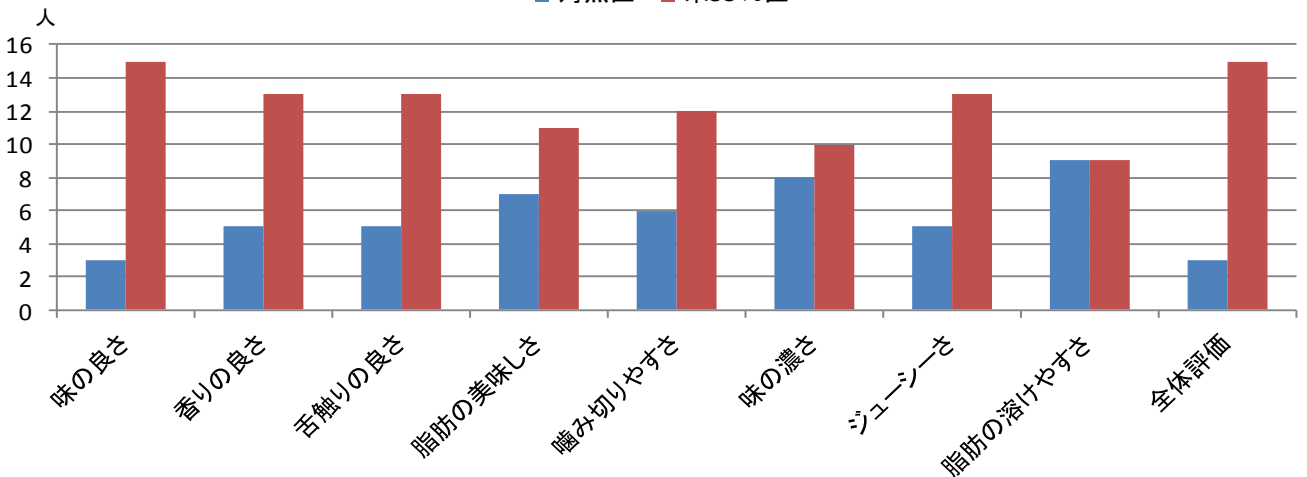
発育成績、肉質成績

調査項目	対照区	米55%区	米75%区
出荷日齢	174.3	171.3	169.0
日増体量(g/日)	760.5	830.1	881.2
背脂肪厚(cm)	2.7	2.8	3.0
皮下脂肪内層 オレイン酸(%)	43.4	44.1	45.2
リノール酸(%)	8.4	6.5	6.1
飼料中の穀類価格(円)※	5,952	5,486	5,471

※当所で購入している飼料会社の穀物価格で算出
トウモロコシ 35円/kg、飼料用米 33円/kg
マイロ 34円/kg、大麦 35円/kg

官能評価(どちらを好むか)

■ 対照区 ■ 米55%区



対象作物・家畜、普及対象

- ・飼料用米、豚（バークシャー種）

対象農家

- ・バークシャー種飼養農家（一貫経営、肥育経営）

必要な道具

- ・粳摺り機、飼料用米破砕機（自身の圃場で生産された飼料用米の利用など、飼料会社で粳摺り、破砕ができない場合に用意する必要があります）

その他

- ・比較的冷涼な岩手県岩手郡滝沢村での試験結果です。飼料用米の給与により、厚脂になりやすいことに注意が必要です。